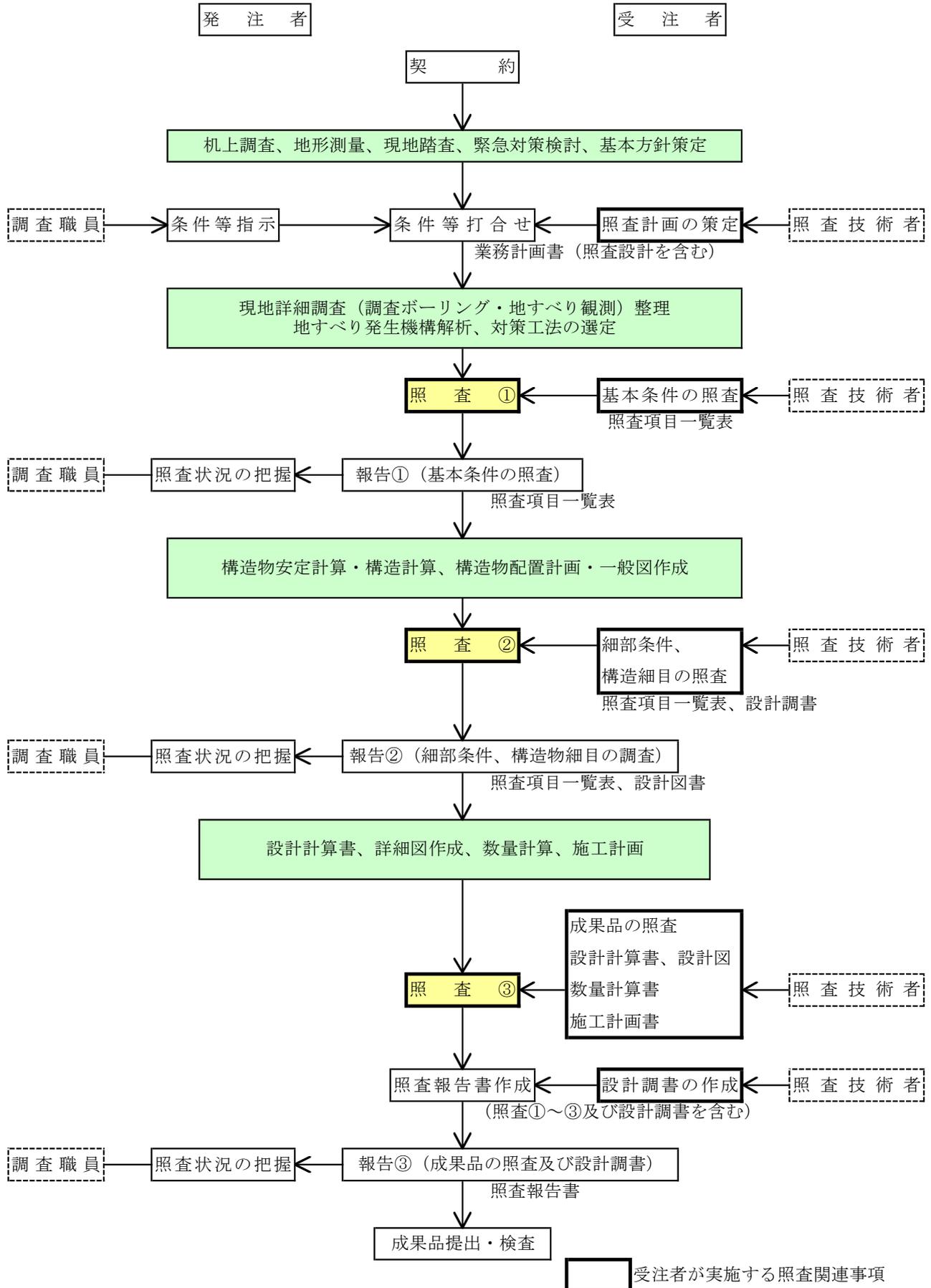


森林土木工事詳細設計照査要領  
地すべり防止工 詳細設計照査要領

令和2年12月

# 地すべり防止工 詳細設計 照査フローチャート



注記 行程に関わる照査・報告①②③の時期は、業務計画書提出時に打ち合わせにより設定する。

# 基本条件の照査項目一覧表

## ( 照査 ① )

業 務 名 : \_\_\_\_\_

発 注 者 名 : \_\_\_\_\_

受 注 者 名 : \_\_\_\_\_

照査の日付 : 令和 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

基本条件の照査項目一覧表（様式－１）

No.	照査項目	照査内容	照査①			確認資料 確認できる資料の名称、頁等を記入 (例) 関連基準類、過年度成果の該当頁 等	備考 詳細設計照査要領の概要「6. その他記載等に当たっての留意事項」を参照
			該当対象	確認			
				該当対象項目を抽出し○印を記入	照査を完了した項目について○印を記入		
1	設計の目的、主旨、範囲	1) 設計の目的、主旨、範囲を把握したか。					
		2) 設計の内容、工程等について具体的に把握しているか。					
		3) 地すべりブロック、保全対象物件を把握しているか。					
2	貸与資料の確認	1) 貸与資料は最新版であるか確認したか。また、不足点及び追加事項があるか確認したか。不足がある場合には、資料請求、追加調査等の提案を行ったか。					
		2) 全体計画がある場合、内容を把握したか。					
3	現地踏査	1) 地すべり調査の結果を把握しているか。					
		2) 地形、地質について、現地状況を把握しているか。					
		3) 地すべり変状（滑落崖、地割れ、亀裂、傾倒木の有無、湧水、押し出し等）を把握しているか。					
		4) 保全対象を把握しているか。					
		5) 用地の境界、他法令に係る区域等を確認しているか。					
		6) 周辺の土地利用状況、過去の被災状況等を把握したか。					
		7) 自然環境、景観状況への配慮の必要性、範囲を確認したか。					
		8) 施工時の留意事項を把握したか。					
		9) 支障物件の状況を把握したか。（地下埋設物、架空条件の整理、既設樋管・橋梁などの構造物との離れ等）					
		10) 既設構造物は確認したか。					
		11) 発注者と合同で現地踏査を実施したか。					

基本条件の照査項目一覧表（様式－１）

No.	照査項目	照査内容	照査①			確認資料 確認できる資料の名称、頁等を記入 (例) 関連基準類、過年度成果の該当頁 等	備考 詳細設計照査要項の概要「6. その他記載等に当たっての留意事項」を参照
			該当対象	確認			
			該当対象項目を抽出し○印を記入	照査を完了した項目について○印を記入	確認日 その日付を記入		
4	地すべり防止工設計基本条件	1) 設計に使用する技術基準、参考図書を確認したか。また、最新版であるか確認したか。					
		2) 全体計画がある場合、計画に準じて業務が遂行されるか。					
		3) 過年度成果における「申し送り事項」に対して確認し、対応方法について協議したか。					
		4) 地すべり範囲（ブロック）を決定した根拠は、地表変状との整合がとれているか。					
		5) 地すべりの規模、目的に合った調査を実施していることを確認したか。					
		6) 適切な調査ボーリング配置により、地盤状況を正確に把握できているか。					
		7) 適切な地すべり観測により、地すべりの滑動状況、すべり方向を把握できているか。					
		8) 適切な地下水調査により、地すべりの地下水（間隙水圧）状況、湧水状況等を把握しているか。					
		9) 追加調査の必要性を検討したか。					
		10) 緊急対策の必要性について検討しているか。					
5	地すべり発生機構・解析	1) 主測線は、地すべり方向と整合しているか。					
		2) 主測線は、地すべりの最頂部、末端部を結ぶ最大危険断面を設定しているか。					
		3) 地すべりのすべり面を決定した根拠は適性か。					
		4) 地すべり解析に用いた間隙水圧条件は適切か。					
		5) 地すべり発生の素因は、調査結果に基づいて整理されているか。					
		6) 地すべり発生の誘因は、災害発生時の気象条件、現地条件の把握により整理されているか。					
		7) 地すべりの発生機構は、各種調査、解析結果により基づいて推測、しているか。					
6	地すべり安定解析	1) 地すべり安定解析の計画安全率、計算式、計算方法を確認したか。					
		2) 地すべり安定解析に使用する地形モデル・すべり面形状は正しく設定されているか。					
		3) 地すべり安定解析に使用する地下水位は、調査結果に基づいて適切に設定しているか。					
		4) 地すべり安定解析に使用する土質定数の決定方法を確認したか。					
		5) 設定した土質定数は、地質条件、地すべり形状と整合しているか。					

基本条件の照査項目一覧表（様式－1）

No.	照査項目	照査内容	照査①			確認資料 確認できる資料の名称、頁等を記入 (例) 関連基準類、過年度成果の該当頁 等	備考 詳細設計照査要項の概要「6. その他記載等に当たっての留意事項」を参照
			該当対象	確認			
				該当対象項目を抽出し○印を記入	照査を完了した項目について○印を記入		
7	地すべり対策工法の選定	1) 地すべり防止工の目的、抑制工・抑止工の工種及び種別等を把握しているか。					
		2) 地すべり発生機構並びに現地条件等地すべりの特徴を把握して対策工法を検討しているか。					
		3) 地すべりの規模、整備目標（計画安全率）に合った対策工法を選択しているか。					
		4) 抑制工・抑止工を適切に組み合わせた対策工法を検討しているか。					
		5) 目的、施工効果、経済性を考慮した複数の対策案、組み合わせを比較検討しているか。					
		6) 抑制工・抑止工の整備（安全率）割合は適切に設定しているか。					
		7) 各工種の配置は、地すべり発生機構、現地条件にあったものか。					
		8) 現地施工が可能な工種を選択しているか。					
		隣接する地すべり箇所との整合性はよいか。					
8	施工条件	1) 施工可能な施工機械、運搬車両を検討したか。					
		2) 施工時期を制約する問題点を把握したか。					
		3) 施工ヤード等利用可能な箇所を把握しているか。					
9	関連機関との調整	1) 関連機関との調整内容を確認したか。					
		2) 地権者及び地元等の調整内容を理解したか。					
		3) 占有者との調整内容を理解したか。					
		4) 他事業との調整内容を理解したか。					
10	環境及び景観検討	1) 環境及び景観検討の必要性、方針、内容、範囲等を理解したか。					
		2) 環境及び景観検討の具体的方法、作成すべき資料等は明らかとなっているか。					
11	コスト縮減	1) コスト縮減工法を検討したか。					

基本条件の照査項目一覧表（様式－１）

追加項目記入表

No.	照査項目	照査内容	照査①			確認資料	備考
			該当対象	確認	確認日		
			該当対象項目を抽出し○印を記入	照査を完了した項目について○印を記入	その日付を記入		
						確認できる資料の名称、頁等を記入 (例) 関連基準類、過年度成果の該当頁 等	詳細設計照査要領の概要「6. その他記載等にわたっての留意事項」を参照

# 細部条件の照査項目一覧表 ( 照査 ② )

業 務 名 : \_\_\_\_\_

発 注 者 名 : \_\_\_\_\_

受 注 者 名 : \_\_\_\_\_

照査の日付 : 令和 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

細部条件の照査項目一覧表（様式－２）

No.	照査項目	照査内容	照査②			確認資料 確認できる資料の名称、頁等を記入 (例) 関連基準類、過年度成果の該当頁 等	備考 詳細設計照査要領の概要「6. その他記載等に当たっての留意事項」を参照
			該当対象	確認	確認日		
1	協議内容	1) 受・発注者間で協議した内容が反映されているか。					
2	主要図面	1) 平面図（法線，取付等）は適切か。					
		2) 縦・横断面図は適切か。					
		3) 基本条件等との整合がとれているか。					
		4) 既設，次年度以降の計画及び他所管構造物等の関連は適切か。					
3	使用材料	1) 使用する材料に制約はあるか。					
		2) 現地材の利用可能性を検討しているか。					
		3) 使用材料の規格は基準と合致しているか。					
		4) 木材の積極的な利用を検討しているか。					
		5) 再生資材の利用を検討しているか。					
4	抑制工 地表水排除工 浸透防止工	1) 設置目的は理解しているか。					
		2) 種別（粘土・ビニルシート・アスファルト等）の選定は適切か。					
		3) 施工位置は適切か。					
5	抑制工 地表水排除工 水路工	1) 設置目的は理解しているか。					
		2) 種別（コンクリート・コルゲート等）の選定は適切か。					
		3) 地表水の流入防止または浸透防止に効果な配置としているか（湧水箇所・集水地形部・凹部等）。					
		4) 流末は、地すべり地外に安全に排水が可能か。					
6	抑制工 地表水排除工 流路工	1) 設置目的は理解しているか。					
		2) 種別（コンクリート・かご構造・二次製品等）の選定は適切か。					
		3) 地表水・渓流水の流入防止に効果な配置としているか。					
		4) 流末は、地すべり地外に安全に排水が可能か。					
		5) 施工時の地すべり安定性を検討しているか。					

細部条件の照査項目一覧表（様式－２）

No.	照査項目	照査内容	照査②			確認資料 確認できる資料の名称、頁等を記入 (例) 関連基準類、過年度成果の該当頁 等	備考 詳細設計照査要領の概要「6. その他記載等に当たっての留意事項」を参照
			該当対象	確認	確認日		
7	抑制工 地下水排除工 暗渠工	1) 設置目的は理解しているか。					
		2) 種別（暗渠管・蛇籠等）の選定は適切か。					
		3) 浅層地下水または地表浸透水の効果的な排除に適した配置及び深さとなっているか（湧水箇所・集水地形部・凹部等）。					
		4) フィルター材料、吸出防止材、再浸透防止材（遮水シート等）の選定及び構造は適切か。					
		5) 暗渠工集水は、適度な間隔で水路工等に排水しているか。					
8	抑制工 地下水排除工 ボーリング暗渠工	1) 設置目的は理解しているか。					
		2) 地すべり調査により把握した地下水帯に配置可能か。					
		3) ボーリング暗渠工配置は、排除すべき地下水の位置、圧力水頭の低下量を勘案し、削孔長が最も短くなるよう配置しているか。					
		4) ボーリング暗渠工は、地すべりの規模、地下水帯の分布に応じて、複数群の設置を検討したか。					
		5) ボーリング暗渠工の孔口は地盤が安定した箇所を選定し、孔口保護工及び孔口漏水対策の検討や排水用の水路工等の計画を適切に行っているか。					
		6) ボーリング暗渠工の延長は、孔曲がりによる品質低下を避けるため、50m程度までの計画としているか。					
		7) ボーリング暗渠工の延長は、排除すべき地下水帯を通過し、すべり面を5～10m程度貫通しているか。					
		8) ボーリング暗渠工の本数及び平面配置は、排除すべき地下水を効果的に集水できる配置とし、先端の間隔が適切な距離（5～10m程度）となるよう決定しているか。					
		9) 打設勾配は、地下水の自然排水が可能な角度に設定しているか。（一般には5～10度）					
		10) 掘削口径は、保孔管の径に応じた大きさとなっているか。					
		11) 水位低下の効果は適切に算定されているか。					

細部条件の照査項目一覧表（様式－２）

No.	照査項目	照査内容	照査②			確認資料 確認できる資料の名称、頁等を記入 (例) 関連基準類、過年度成果の該当頁 等	備考 詳細設計照査要領の概要「6. その他記載等に当たっての留意事項」を参照
			該当対象	確認	確認日		
9	抑制工 地下水排除工 集水井工	1) 設置目的は理解しているか。					
		2) 地すべり調査により把握した地下水帯に配置可能か。					
		3) 集水井施工位置は、排除すべき地下水の位置、圧力水頭の低下量を勘案し、坑内集水ボーリング工の削孔長が最も短くなるよう配置しているか。					
		4) 集水井の設置は、湧水や湿地部に近接した比較的安定した箇所とし、排水計画、排水ボーリングの施工性を考慮して選定しているか。					
		5) 集水井の配置は、地すべりの規模、地下水帯の分布に応じて、複数基の設置を検討したか。					
		6) 集水井の種別（ライナープレート、セグメント等）は、地すべり地の状況に応じて選定したか。					
		7) 集水井の直径は標準的な径（3.5m）を採用しているか。					
		8) 集水井の深度は、基盤に達するまで計画（すべり面を2m程度貫く）しているか（活動が停止していない地すべり地は除く）。					
		9) 集水井の構造は、想定される荷重（土圧）に対する安定性を確保しているか。					
		10) 排水ボーリングは、自然流下が可能な勾配とし、延長は均質な岩盤では80m程度まで、破碎帯等の複雑な地盤では60m程度までの計画であるか。					
		11) 排水ボーリングは、地すべりによるせん断破壊を避けるため、すべり面を切らない計画としているか。					
		12) 排水ボーリングの流末は、地すべりブロック外もしくは水路工等により地すべりブロック外へ安全に排水が可能か。					
		13) 水位低下の効果は適切に算定されているか。					

細部条件の照査項目一覧表（様式－２）

No.	照査項目	照査内容			照査②			確認資料 確認できる資料の名称、頁等を記入 (例) 関連基準類、過年度成果の該当頁 等	備考 詳細設計照査要領の概要「6. その他記載等に当たっての留意事項」を参照
					該当対象	確認	確認日		
10	抑制工 排土工	1)	設置目的は理解しているか。						
		2)	排土工の位置及び範囲は、頭部付近で計画し、地すべり推力を効果的に軽減できる位置となっているか。						
		3)	排土区域及び排土深は、施工性や経済性を考慮して決定しているか。						
		4)	排土工施工に伴う上部斜面の安定性は検討しているか。						
		5)	排土工施工後の切り土法面の安定性及び法面保護の検討はしているか。						
		6)	排土工で発生する残土の処分方法について検討しているか。						
11	抑制工 押え盛土工	1)	設置目的は理解しているか。						
		2)	盛土工の位置及び範囲は、末端部付近で計画し、地すべり抵抗力を効果的に増大できる位置となっているか。						
		3)	盛土区域及び盛土厚は、施工性や経済性を考慮して決定しているか。						
		4)	盛土工施工に伴う下方斜面の安定性は検討しているか。						
		5)	盛土の安定性確保のため、盛土基礎工や盛土の地表水、地下水対策は検討しているか。						
		6)	盛土法面勾配は、土質に応じた安全な勾配を計画し、小段の設置や法面排水等を検討しているか。						
		7)	盛土法面の保護は検討しているか。						
		8)	盛土工で使用する盛土材（土）の調達方法について検討しているか。						

細部条件の照査項目一覧表（様式－２）

No.	照査項目	照査内容	照査②			確認資料 確認できる資料の名称、頁等を記入 (例) 関連基準類、過年度成果の該当頁 等	備考 詳細設計照査要領の概要「6. その他記載等に当たっての留意事項」を参照
			該当対象	確認	確認日		
12	抑止工 杭工	1) 設置目的は理解しているか。					
		2) 必要抑止力の設定は適切か（安全率負担割合）。					
		3) 杭の安定性検討に使用する定数の設定根拠は整理されているか。					
		4) 杭の型式は、施工位置の移動特性やすべり面の深度、杭の機能を考慮して、最適な型式を選定しているか。（補強杭、くさび杭、せん断杭、抑え杭等）					
		5) 杭施工位置は、軟弱地盤を避けて、比較的安定した地盤で計画しているか。					
		6) 杭材の種別（鋼管・PC杭・RC杭・H形鋼）は、設計強度を満足しているか。					
		7) 杭施工位置は、施工性を考慮しているか。					
		8) 杭谷側移動層の地盤反力は期待できるか。					
		9) 杭山側移動層の受動破壊について検討しているか。					
		10) 杭谷側移動層の単独すべりの危険性は検討しているか。					
		11) 鋼材の種別について、杭の変形を考慮して、鋼材規格を選定しているか。					
		12) 鋼材の許容応力度は、短期強度を採用しているか。					
		13) 鋼材の腐食しるは考慮しているか。					
		14) 保全対象に隣接する箇所や近傍に構造物がある場合は、杭頭変位による影響を考慮したか。					
		15) 杭の間隔は、杭の安全性が確保されると共に中抜けが生じないように標準杭間隔または、杭直径の8倍以内を目安に設定しているか。					
		16) 杭の配置は、単列での計画としているか。					
		17) 杭の根入れは必要長を確保しているか。					
		18) 杭材は、掘削費、材料費等を考慮した経済比較を行って決定したか。					
		19) 杭頭部の埋設深度は適切か。					
		20) 施工性を考慮した杭の継手（ネジ式もしくはメカニカル式）を採用しているか。					
		21) 杭の内部及び外周の処理について検討しているか。					

細部条件の照査項目一覧表（様式－２）

No.	照査項目	照査内容	照査②			確認資料 確認できる資料の名称、頁等を記入 (例) 関連基準類、過年度成果の該当頁 等	備考 詳細設計照査要領の概要「6. その他記載等に当たっての留意事項」を参照
			該当対象	確認			
				照査を完了した項目について○印を記入	確認日 その日付を記入		
13	抑止工 アンカー工	1) 当該現場でのアンカー工の必要性と目的について検討したか。					
		2) 他工法と安全性、施工性、経済性等の比較検討を行って採用を決定したか。					
		3) 所要アンカー力の設定は適切か（安定計算結果との整合性・安全率負担割合）。					
		4) アンカー工の安定性検討に使用する地盤定数等の設定根拠は明確であるか。					
		5) 地盤定数の決定に必要な調査（引抜試験等）は実施されているか。					
		6) アンカー工の機能（引き止め効果・締め付け効果）を明確にしているか。					
		7) アンカー工の施工位置は、部分的な応力集中が発生せず、全体として地すべりに抵抗させるような位置を計画しているか。					
		8) アンカー体定着部の地質状態は安定しているか。					
		9) アンカー定着長、自由長の設定は適切か。					
		10) 1本当たりの設計アンカー力は、定着部、頭部の地盤状況を考慮して決定したか。					
		11) アンカー工の打設方向は、地すべり移動方向に平行であるか。					
		12) アンカー工の横断方向の配列は、地すべり両端部にわたって適切に配置しているか。					
		13) アンカー工の間隔は標準間隔（2～4 m）で計画しているか。					
		14) アンカー施工段数は、地すべり特性、1本当たりのアンカー力、受圧板構造および地盤支持力の関係等を考慮して決定しているか。					
		15) アンカー打設角度は、施工性を考慮して、水平面より－10～＋10度の範囲を避けた計画としているか。					
		16) アンカー工の型式は、地盤の状況や設計アンカー力に応じて、適切な型式を選定しているか（摩擦型・支圧型・混合型）。					
		17) アンカー材は、地盤の状況や削孔方法、設計アンカー力等の施工性・経済性を比較して選定しているか。					
		18) アンカー施工段数、打設角度、アンカー材等は、複数の施工パターンを検討し、最も経済的な組み合わせを選定しているか。					
		19) アンカー材の各部材は、十分な防錆機能を有しているか。					
		20) 選定したアンカー材は、耐久性が確保され、施設管理が容易な構造であるか。					
		21) アンカー受圧構造は、設計アンカー力、地盤支持力、施工性等を比較検討して選定しているか。					
		22) 受圧構造物の構造計算は適切に行われ、安定条件を満たしているか。					
		23) 受圧構造物支持地盤は、アンカー力および浸食等に対して安全であるか。					
		24) アンカー工山側移動層の受動破壊について検討しているか。					
		25) アンカー工谷側移動層の単独すべりの危険性は検討しているか。					
		26) 確認試験の方法、設計荷重は整理しているか。					

細部条件の照査項目一覧表（様式－２）

No.	照査項目	照査内容	照査②			確認資料 確認できる資料の名称、頁等を記入 (例) 関連基準類、過年度成果の該当頁 等	備考 詳細設計照査要領の概要「6. その他記載等に当たっての留意事項」を参照
			該当対象	確認	確認日		
14	施工計画	1) 施工方法、手順は適切か。					
		2) 運搬路、仮設道及び施工ヤード等の確保を検討しているか。					
		3) 付帯工として計画する工種はあるか。					
		4) 樹木、植生等への影響を考慮しているか。					
		5) 騒音、振動、排ガス、汚濁水等の影響を考慮しているか。					
15	コスト縮減	1) コスト縮減策を検討しているか。					

細部条件の照査項目一覧表（様式－２）

追加項目記入表

No.	照査項目	照査内容	照査②			確認資料	備考
			該当対象	確認	確認日		
			該当対象項目を抽出し○印を記入	照査を完了した項目について○印を記入	その日付を記入		
							詳細設計照査要領の概要「6. その他記載等に当たっての留意事項」を参照

成果品条件の照査項目一覧表  
( 照査 ③ )

業務名： \_\_\_\_\_

発注者名： \_\_\_\_\_

受注者名： \_\_\_\_\_

照査の日付： 令和 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

	照査技術者	管理技術者
受注者印		

成果品の照査項目一覧表（様式－3）

No.	照査項目	照査内容		照査③			確認資料 確認できる資料の名称、頁等を記入 (例) 関連基準類、過年度成果の該当頁 等	備考 詳細設計照査要領の概要「6. その他記載等にあたっての留意事項」を参照
				該当対象	確認	確認日		
1	協議内容	1)	受・発注者間で協議した内容が反映されているか。					
2	設計計算書	2)	設計条件、施工条件は適正に運用されているか。					
		3)	インプットされた値は適正か。					
		4)	各検討設計ケースは適切か。					
		5)	荷重、許容応力度の取り方は妥当か。					
		6)	安定計算結果は許容値を満たしているか。（変位量、安定に対する安全度、根入れ深さ）					
		7)	荷重図、モーメント図等は描かれているか。					
		8)	施工を考慮した計算となっているか。					
		9)	応力度は許容値を満たしているか。また、単位は適正か。					
		10)	図・表の表示は適正か。					
		3	設計図	1)	打合せ事項は反映されているか。			
2)	縮尺、用紙サイズ等は共通仕様書、または、特記仕様書と整合されているか。							
3)	全体一般図等に必要な項目が記載されているか。（法線、既設構造物、他所管施設、付属構造物等）							
4)	構造物の基本寸法、高さ関係は照合されているか。							
5)	必要寸法、部材形状及び寸法等にもれはないか。							
6)	使用材料及びその配置は計算書と一致しているか。							
7)	構造詳細は適用基準及び打合せ事項と整合しているか。							
8)	各設計図が相互に整合しているか。 ・一般平面図と縦断図、横断図、構造図 ・構造図と仮設図 ほか							
9)	設計計算書の結果が正しく図面に反映されているか。（特に応力計算、安定計算等の結果が適用範囲も含めて整合しているか。）							
10)	レイアウト、配置、文字サイズ等は適切か。							
11)	解り易い注記が記載されているか。							
12)	水位、地質条件、岩盤線等、設計条件が図面に明示されているか。							
13)	既設構造物及び他所管施設は表示されているか。							
14)	標準図及び定規図は作成されているか。							
15)	図面が明瞭に描かれているか。（構造物と寸法線の使いわけがなされているか。）							

成果品の照査項目一覧表（様式－3）

No.	照査項目	照査内容	照査③			確認資料 確認できる資料の名称、頁等を記入 (例) 関連基準類、過年度成果の該当頁 等	備考 詳細設計照査要領の概要「6. その他記載等にあたっての留意事項」を参照
			該当対象	確認	確認日		
					該当対象項目を抽出し○印を記入		
4	数量計算書	1) 数量計算は、森林整備保全事業設計積算要領、運用細則及び打合せ事項と整合しているか。(有効数字、位取り、単位、区分等)					
		2) 数量計算に用いた寸法、数値、記号は図面と一致するか。					
		3) 数量取りまとめは、工種毎、材料毎に打合せ区分にあわせてまとめられているか。					
		4) 数量計算の根拠となる資料(根拠図等)は作成しているか。					
		5) 横断面図による面積計算、長さ計算の縮尺は図面に整合しているか。					
		6) 施工を考慮した数量計算となっているか。					
		7) 数量全体総括、工区総括、ブロック総括等、打ち合わせと整合し、かつ転記ミスや集計ミスがないか。					
		8) 使用する材料の規格及び強度等は記入されているか。					
5	赤黄チェック	1) 赤黄チェック等により照査したか。					
6	報告書	1) 報告書の構成は妥当か。また、特記仕様書の内容を満足しているか。					
		2) 打合せや協議事項は反映されているか。					
		3) 設計条件の考え方が整理されているか。					
		4) 比較検討の結果が整理されているか。					
		5) 工事発注時に仕様書で指定すべき事項・条件明示すべき事項が明記されているか。					
		6) 「電子納品要領(案)」に基づいて適正に作成したか。					
		7) 今後の課題、施工上の申し送り事項及び工事発注に際しての留意事項が記述されているか。					
7	TECRIS	1) TECRISの内容について、発注者と確認を行ったか。					

成果品の照査項目一覧表（様式－3）

追加項目記入表

No.	照査項目	照査内容	照査③			確認資料	備考
			該当対象	確認	確認日		
			該当対象項目を抽出し○印を記入	照査を完了した項目について○印を記入	その日付を記入		
						確認できる資料の名称、頁等を記入 (例) 関連基準類、過年度成果の該当頁 等	詳細設計照査要領の概要「6. その他記載等にわたっての留意事項」を参照